

投資事業評価調書(新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 遠阪川	氷上郡青垣町遠阪		約2.6
所在地				着工予定年度	完成予定年度
氷上郡 青垣町 遠阪				H13年度	H15年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流であり、土砂災害の危険性が高いため、対策ダムを設置することにより、人命・財産を保全する。	・スリットダム工 2基 (H=8.0m, L=43m) (H=8.0m, L=38m)

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・遠阪川は土石流危険渓流である。 ・平成11年度まで町の今出親水公園計画に合わせの渓流整備(ふるさと砂防事業)を行ってきたが、既設砂防設備では整備率が低水準である。 ・保全対象:人家=16戸, 公共施設=公民館, 町道, 今出親水公園 ・生活道路である町道が被災すると一時的に地域が分断される。
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流施設として整備が進む今出親水公園の防災支援をすることにより、地域活性化対策の一翼を担うことができる。 ・砂防ダム工事により土砂災害が軽減され下流の公園整備の促進が図れるようになる。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・水面の創造により、良好な水辺空間をつくり、下流の親水公園と一体となった環境づくりを行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの事業化への要望が強い。 ・山村振興指定地域及び豪雪地帯対策特別指定地域に該当し、砂防ダム整備により地域間格差の是正に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人命, 財産(人家16戸)が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。また、町の公園整備と連携することにより、高い事業効果が得られる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・スリットタイプにすることにより、渓流の上下流の連続性を確保し、生態系の保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流危険渓流であり溪岸の荒廃が激しく、土砂流出の危険性が高い。土石流被害想定区域には人家が多く、また、下流域では町の親水公園整備が進んでおり、土砂災害対策の充実が急務である。

評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	------	----------------------